

平成26年 死亡災害発生の概要（建設業）

平成27年3月10日現在（速報）
大阪労働局 労働基準部 安全課

番号	発生日	業種	性別	年齢	職種	経歴	事故の型	起因物	発生状況
1	2月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (030201)	男	40代	職工	18年	墜落・転落	その他の仮設物	ワイヤーメッシュ(2m×4m, 50枚, 重量1.7t)を移動式クレーンで吊り上げ、作業構台に載せたところ、作業構台がたわみ、構台を支えていたクランプが外れて崩壊し、構台上で玉外し作業をおこなっていた被災者が地上まで約9.5m墜落した。
2	2月	橋梁建設工事業 (030105)	男	40代	橋梁工	1年	墜落・転落	建築物構築物	鉄道高架橋補修工事において、高欄の天端上で、施工した剥落防止シートの保護フィルムの撤去作業を行っていたところ、バランスを崩し軌道内へ1.5m墜落した。
3	3月	その他の土木工事業 (030199)	男	30代	監督員	10年	おぼれ	トラック	土地整地工事において、ダンプの走行により汚れた道路を清掃するため、散水車を使用していた。散水車の水が無くなり補充するため、近隣の池で給水補充作業をしていた被災者が、散水車とともに池に沈んでいるのを発見された。
4	3月	建築設備工事業 (030203)	男	30代	職工	3年	墜落・転落	足場	商業施設の外壁塗替工事において、4階開口部横で足場の解体作業を行っていたところ、自身の重量で足場が転倒し、足場とともに開口部から2階床まで約12m墜落した。
5	4月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (030201)	男	20代	土工	6年	崩壊・倒壊	地山岩石	店舗新築の基礎工事において、埋設されていた旧雨水管撤去のため、掘削床面(深さ1.5m)で人力により掘削していたところ、掘削側面の一部が崩壊し、崩壊した土砂が胸部付近に激突。腰部まで土砂に埋まった。
6	5月	その他の建設業—その他 (030309)	男	40代	塗装工	25年	有害物との接触	異常環境等	マンション新築工事において、外壁吹き付け塗装を行う際に、近隣への騒音苦情を低減させるため、ドアを閉め切った6階部屋内にエンジンコンプレッサーを2台設置して、外部足場やベランダにおいてスプレーガンを使用して作業していたが、被災者が、燃料補給のため当該部屋へ入室し、燃料補給を行っていたところ、意識を失い救急搬送されたが死亡した。
7	5月	木造家屋建築工事業 (030202)	男	20代	タイル工	1か月	墜落・転落	足場	木造3階建住宅の新築工事現場において、単管一側足場上で外壁の下地材の取付けを行っていたところ、バランスを崩し地上まで5.75m墜落した。
8	5月	その他の建設工事業 (030209)	男	40代	土工	3年	墜落・転落	開口部	鉄筋コンクリート造社屋解体工事において、散水作業に従事していた被災者が、4階部分に設けられたガウ投下用の開口部(約2m×2m)から1階床まで約10m墜落した。
9	7月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (030201)	男	50代	職工	20年	墜落・転落	足場	外壁改修工事において、足場資材を取り込む作業を行うため枠組足場9段目でウインチの設置他の前段取り作業を行っていた被災者が、足場作業床の端部から地上まで約16m墜落した。
10	7月	その他の建設業—その他 (030309)	男	20代	電気工	1か月	感電	送配電線等	店舗内の電気設備のメンテナンス工事において、既設配線ダクトの撤去とコンセント配線の新規設置工事を行っていた。被災者が結線を行おうとしたところ、活線となっていた配線に触れ感電した。なお、配線ダクトの電圧は100Vであった。
11	8月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (030201)	男	60代	職工	35年	墜落・転落	建築物構築物	鉄骨造2階建て店舗新築工事において、高さ5.14mの2階鉄骨の梁の上を歩いていたところバランスを崩し墜落した。入院加療していたが、11月7日に死亡した。
12	10月	その他の建設工事業 (030209)	男	20代	解体工	3年	墜落・転落	トラック	木造住宅解体工事において、解体用つかみ機を使用して廃材をトラックに積込む作業を行っていた。被災者は、トラック運転席屋根上で、解体用つかみ機の運転者に対し、廃材を載せる位置について合図を行っていた。つかみ機で丸太をトラック荷台に載せた時、丸太が転がり始めたため、これを止めようとしたところ、丸太と一緒に運転席屋根上から地上まで約2m墜落した。

番号	発生月	業種	性別	年齢	職種	経歴	事故の型	起因物	発生状況
13	10月	その他の建設業—その他 (030309)	男	60代	溶接工	45年	はさまれ 巻き込まれ	その他の装置・設備	岸壁に設置された砂の積み替え作業に用いるホッパーの修理作業を行っていた。被災者は、ダンパー内の排出口部分の鉄板の補強を行うため、トラック荷台上に置いた脚立の上に立ち、排出口の寸法を計測していたところ、突然、ダンパーが閉じ、胸部をはさまれた。入院加療していたが、12月10日に死亡した。
14	11月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (030201)	男	40代	篤工	26年	交通事故	乗用車	社用車を運転して自宅から現場へ向かっていた。途中同僚を迎えに行くため、交差点に差しかけたところ、被災者の運転する社用車が路側帯に乗り上げ、信号機に激突し横転した。